

2019年7月7日

全国大学国語教育学会

2019年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会事務局

◆第137回大会 仙台大会のご案内（第1次）

仙台大会実行委員長 児玉 忠（宮城教育大学）

◆第137回大会 仙台大会

■開催日：令和元（2019）年10月26日（土）～27日（日）

■会場：宮城教育大学 青葉山キャンパス

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149

●学会参加については、事前申し込みを基本とします。

宿泊ホテルについては、案内をいたしません。各自でお願いいたします。仙台市内におきましても多くのホテルが宿泊予約を取りにくい状況が近年発生しております。宿泊予約はどうぞ早めに行なってください。

□編集委員会 10月25日（金）13:00-17:30

ホテルメトロポリタン仙台（5階「松」）

（〒980-8477 仙台市青葉区中央1-1-1 JR仙台駅向かい）

□常任理事会 10月25日（金）18:00-21:00

ホテルメトロポリタン仙台（4階「萩」）

（〒980-8477 仙台市青葉区中央1-1-1 JR仙台駅向かい）

※ 編集委員会、常任理事会、理事会の議事案内、出欠確認は学会事務局からご連絡いたします。

※ 編集委員会、常任理事会、理事会参加の役員の方々、シンポジウム・課題研究発表・公開講座に登壇される先生方、研究部門委員会参加の先生方の弁当は、大会事務局にて準備いたします。

◆大会2日間の概要（予定） 会場：宮城教育大学 青葉山キャンパス（2日間とも）

<第1日目 10月26日（土）>

○AM 自由研究発表

○昼 理事会

院生・若手交流企画(企画・運営「院生・若手交流企画」実行委員会)

仙台大会に参加している大学院生や若手研究者・教員が、互いに知り合ったり、各自の問題関心などを交流・共有する。会員・非会員問わず参加可。途中参加・退出可。

○PM 総会

シンポジウム ―国語科教材研究の再構築（仮題）―

登壇者 植山俊宏（京都教育大学）

住田 勝（大阪教育大学）

羽田 潤（兵庫教育大学）

○懇親会 宮城教育大学青葉山キャンパス 萩朋会館内大学食堂

<第2日目 10月27日(日)>

○AM 課題研究発表

国語教育の多層性① 改正入管法を受けて、子どもたちの言語教育をどう保証していくか
コーディネーター 難波博孝(広島大学)
細川英雄(早稲田大学名誉教授)
南浦涼介(東京学芸大学)
山田深雪(玉川大学)

○昼 研究部門会議

○PM 自由研究発表

ラウンドテーブル

公開講座

※学会事前参加申込み及び発表申込・要旨投稿は、7月中旬からWEB上で受け付けます。

以下をよく読んでからお申込みいただけますようお願い致します。

◆自由研究発表・ラウンドテーブルコーディネーターの募集

(1) 募集区分

- 自由研究発表 発表時間20分+質疑応答10分
- ラウンドテーブル 1時間30分(予定)

(2) 申込期間(※7月中旬から受付開始予定)

<u>発表申し込み締め切り</u>	<u>8月14日(木)</u>
<u>要旨原稿投稿締め切り</u>	<u>9月17日(火)</u>

(3) 申し込み上のご注意

※発表資格について

自由研究発表の発表申込者(筆頭発表者)及び共同発表者と、ラウンドテーブルの発表申込者(コーディネーター)は、以下のように会員資格を有し、年会費を納入していることが条件となります。お手続きがお済みでない方は、お早めにお問い合わせください。

※発表のための新規入会は、8月7日(水)までに入会申請を行い、8月23日(金)までに年会費のご納入まで完了してください。

※現在会員の方は、大会開催年度(令和元年度)までの年会費を、発表申込締切日までに必ずご納入ください。ご納入いただけない場合、発表が不採択となります。

※締切後の発表申込は、一切受け付けません。

※自由研究発表の発表日指定はできません。

※発表申し込み締切後は、題目・発表者等の変更はできません(申込期間内は、ご自身でシステムから修正可能です)。発表申込の登録情報と要旨原稿の記載情報は、必ず一致させてください。やむを得ず変更があった場合は、必ず大会ヘルプデスクへメールでご連絡ください。

※お申し込みは、WEBでのみ受け付けます。どうしてもWEBでの申込が難しい場合に限り、別のお申込み方法をご案内しますので、大会ヘルプデスクまでお問い合わせください。

(4) 発表申し込み時の入力項目について

●自由研究発表 登録時の入力項目

※お申込みは、筆頭発表者が行ってください。

- ・発表区分(自由研究発表を選択してください)
- ・題目・副題
- ・筆頭発表者の氏名(ふりがな)、所属
- ・共同発表者の氏名(ふりがな)、所属(いない場合は不要)
- ・プロジェクター使用希望の有無(パソコンは発表者持ち込みで、お願いいたします。会場はすべ

てRGBのみの対応です。WinでHDMIに接続する場合は接続アダプターを、MacはD-sub15ピンケーブルとの接続アダプターをご準備ください。なお、準備時間も発表時間に含みます。)

●ラウンドテーブル 登録時の入力項目

※お申込みは、コーディネーターが行ってください。

- ・発表区分（ラウンドテーブルを選択してください）
- ・題目・副題
- ・コーディネーターの氏名（ふりがな）、所属
- ・登壇者の氏名（ふりがな）、所属
- ・プロジェクター使用希望の有無（パソコンは発表者持ち込みで、お願いいたします。会場はすべてRGBのみの対応です。WinでHDMIに接続する場合は接続アダプターを、MacはD-sub15ピンケーブルとの接続アダプターをご準備ください。なお、準備時間も発表時間に含みます。)

(5) 要旨原稿の投稿について

※発表要旨のテンプレートは、学会ホームページ (<http://www.gakkai.ac/JTSJ/>) の「テンプレート集」に掲載してあります。大会発表要旨集には、A4・白黒で掲載されます。

※自由研究発表 : A4 4ページ以内

ラウンドテーブル : A4 1件のラウンドテーブル全体で4ページ以内

※PDF形式で申込システムよりご投稿ください。PDF変換は、WORD等の機能を用いてください。

※投稿画面にPDF変換の装置を設置していますが、PDFに変換後の原稿をよくご確認のうえ、ご投稿ください。一部ファイルの作成環境により文字化け等が発生することがあります。

※発表申込を完了すると、投稿ボタンが押せるようになります。

(6) 当日資料について

※お願い：会場運営の都合上、できるだけA4サイズで作成いただけますようお願いいたします。

※当日発表資料は150部を当日に受付までご持参ください。大会事務局では印刷などの対応は一切できません。2日目の資料を1日目にお預かりすることもできません。

◆事前参加申込について

事前参加申し込み締め切り 10月 2日（水）

【申込諸費用】

学会参加費（会員） 事前：3,000円／当日：4,000円

（非会員）事前：3,500円／当日：4,000円

懇親会費（一律） 5,000円

お弁当（1日目・2日目）各日1,000円

※会場近隣には飲食店等がまったくありません。10月26日（土）のみ大学食堂が営業していますが27日（日）は休業しておりますので、お弁当の注文をお勧めします。

※理事会参加の役員の方々、シンポジウム・課題研究発表・公開講座に登壇される先生方、研究部門会議参加の先生方の弁当は、大会事務局にて準備いたします。

※発表申込と同様、受付は7月中旬からシステムにて行います。

※会員の学会参加は、事前申し込みを基本とします。

※お支払方法は、郵便振替とクレジットカード決済のいずれかをご選択ください。郵便振替の場合の申込諸費用のお振込先は、申込完了後にシステムから配信される完了通知メールに記載されています。

※発表申込と事前参加申込は別となります。発表者は必ず事前参加の申込みを行ってください。

※宿泊ホテルについては、案内をいたしません。各自でお願いいたします。

※事前参加のための新規入会は、9月25日（水）までに入会申請を行い、10月11日（金）までに年会費のご納入まで完了してください。ご入会にはお時間がかかりますのでお早めのお手続きにご協力をお願い致します。

●申し込み方法について（共通）

- 1) 大会申込システムのログインページにアクセスしてください。

【大会申込システム】<https://iap-jp.org/jtsj/conf/member/login>

※受付開始は7月中旬です。

受付開始前はアクセスしても受付期間外のメッセージが表示されます。

※学会ホームページにもURLが記載されています。

2) ログインIDの取得とログイン

①ログインIDを取得します。登録したメールアドレスに、ログインIDが記載された完了通知メールが配信されます。

②ログインIDと登録したメールアドレスを入力してシステムへログインしてください。

3) 申込者情報の登録

ログイン後、申込者情報を登録してください。会員としてお申し込みいただく際には、会員番号が必要となります。

※会員番号は、学会から会員の皆様宛に送られる封筒の宛名に記載されています。

4) 事前参加申込・発表申込・要旨投稿

申込者情報の登録後、事前参加申込、自由研究発表・ラウンドテーブルの発表申込、要旨投稿が可能となります。申込が完了すると、登録したメールアドレスに申込完了通知メールが配信されますのでご確認ください。

●お問い合わせ先

※参加・発表申込・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会大会ヘルプデスク

E-mail : jtsj-desk@bunken.co.jp FAX : 03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

※年会費に関すること

全国大学国語教育学会事務局

E-mail : jtsj-post@bunken.co.jp TEL : ~~03-6824-9377~~~~03-5389-3012~~ FAX :

~~03-5227-8631~~~~03-3368-2822~~

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

※仙台大会に関すること

仙台大会事務局

E-mail : tkodama@staff.miyakyo-u.ac.jp

TEL : 022-214-3376 (児玉研究室直通)

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉149

宮城教育大学 児玉忠 宛

*問い合わせはEメールでお願いいたします。

◆『国語科教育』第87集 投稿募集について

第87集編集委員会

1. 投稿論文は、2019年8月1日(木)から8月31日(土)(消印有効)までの期間に受付ます。

2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

全国大学国語教育学会事務局

電話 : ~~03-5227-8631~~~~03-5389-3012~~

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。

4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。

(投稿要領が、一部修正されています。特に、項目7(1)下線部のキーワード記載の点に関し、ご

留意ください。)

『国語科教育』投稿要領(平成28年5月27日修正)

投稿論文の内容および体裁について

1. 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリント類の場合はこの限りではない。
なお、他誌に掲載された自らを著者とする論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
2. 重複投稿の禁止
本誌『国語科教育』に投稿された論文等はその採否が決定するまで国内・国外を問わず他誌に投稿することはできない。また、他誌に投稿中のものは受けない。
3. 募集枠は、「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかが分かるように、そのことを題名の前に明記する。ただし、採択の枠付けに関しては、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
研究論文：独創的な知見を含む学術研究。
実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。
資 料：国語科教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの。
4. 連続掲載は、原則として2回までとする。
5. 論文原稿は、縦書きまたは横書きで、原則としてパソコンを使用する。
6. 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚(8ページ分)以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。
 - (1) 横書きの場合
23字×44行×2段(1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。)
 - (2) 縦書きの場合
33字×31行×2段(1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。)
- ※ 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。
- ※ 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。
- ※ 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。
7. 原稿は以下の体裁で整えること。
 - (1) 論文本体
※ 表題の下に、投稿論文に関わるキーワードを記すこと。(←新規挿入)
※ 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。
 - (2) 注(ただし、引用のための注はつけない)
 - (3) 参考文献
- ※ 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。
8. 引用文献の記載について
 - (1) 引用文献の記載方法は、原則としてAPAスタイルに準拠する。
 - (2) 本文中における引用の記載方法は、次の通りである。
 - ① 著者が一人の場合は、著者の姓および発行年を本文中に挿入する。
…(高橋, 2010)…(Black, 1988)。高橋(2010)は、…。Black(1988)は、…。
 - ② 著者が二人の場合は、両方の著者の姓および発行年を本文中に挿入する。
…(高橋・鈴木, 2012)。…(Black & White, 1992)。高橋・鈴木(2012)は、…。Black & White(1988)は、…。
 - ③ 同一刊行年の文献は、刊行順にa, b, c, を刊行年に付し区別する。
佐藤学(1999a)『教育時評 1997-1999』世織書房
佐藤学(1999b)『学びの快樂 ダイアログへ』世織書房
 - (3) 論文末に、日本語文献と非日本語文献とに分けて参考文献を記載する。日本語文献は著者の姓の五十音順に、非日本語文献は著者の姓のアルファベット順に参考文献を掲載する。翻訳文献は、非日本語文献として記載する。記載方法の例は、次の通りである。
 - ① 学術誌の論文

石井庄司 (1953) 「国語教育学の完成を期して」『国語科教育』第2号, 1-4./Posner, G. J., Strike, K. A., Hewson, P. W., & Gertzog, W. A. (1982). Accommodation of a scientific conception: Towards a theory of conceptual change. Science Education, 66 (2), 211-227./ Wertsch, J. V., (1991). Voices of the Mind: A sociocultural Approach to Mediated Action, Havester Wheatsheaf./ 田島信元他訳 (1995) 『心の声—媒介された行為への社会文化的アプローチ』 福村出版

②書籍

全国大学国語教育学会編著 (2013) 『国語科教育学研究の成果と展望 II』 学芸図書

大槻和夫 (1997) 「国語科教師における国語教育学の目的と体系」 全国大学国語教育学会編

『国語教育学の建設1 国語科教師教育の課題』 明治図書, 1-104.

Fraser, B. J., Tobin, K. G., & McRobbie, C. J. (Eds.). (2012). Second international handbook of science education. Dordrecht, Netherlands: Springer. または

Fraser, B. J., Tobin, K. G., & McRobbie, C. J. (Eds.). (2012). Second International Handbook of Science Education. Dordrecht, Netherlands: Springer.

③オンラインからの引用

文部科学省 (2011) 「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1301088.htm (○年○月○日確認)

Degelman, D., & Harris, M. L. (2000). APA style essentials. Retrieved May 18, 2005, from Vanguard University, Department of Psychology Web site:http://www.vanguard.edu/faculty/ddegelman/index.cfm?doc_id=796

(4) 本文中の文献ページ数の記載は、以下のいずれかの方法に従う。

① 発行年の後に「:」(コロン)を入れて「著者名(発行年:ページ)」とする

例: 石井庄司 (1957:2) は「○○○」と述べている。

② 引用の最後にページ数を明示する。

例: 石井庄司 (1957) は「○○○」(p.2)と述べている。

③ 注の形式(脚注、または、巻末注)で、参照する文献のページ数を明示する。

例: 石井庄司 (1957) は「○○○」1と述べている。

注1. 石井庄司 (1957) p.2

原稿を投稿するにあたって

9. 投稿に際しては以下のものを同封する。

(1) 電子媒体(OS名と作成ソフト名を記載すること)

(2) 打ち出し原稿4部(複写でよい)

(3) 投稿者情報(A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先(電話番号、Eメールアドレス、住所)、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの) なお、提出物は原則として返却しない。

10. 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。

11. 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

12. 著作権について

本誌『国語科教育』に掲載された著作物(電子媒体への変換による利用も含む)の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが、再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会事務局

年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表・ラウンドテーブルへの申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため(常任理事会での承認・当該年度の会費納入)、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

◆ 2019年度 第1回 総会議事録

1 日時 2019年6月1日(土) 14時00分から14時50分

2 場所 茨城大学 水戸キャンパス 講堂

府川源一郎常任理事の進行で総会を開催した。総会に先立ち、昌子佳広茨城大会実行委員長から、大会準備状況について、事前申し込み308名(会員257名・非会員51名)、当日申し込み170名、計478名の参加者であると報告があった。

また、総会の議長として、慣例に従い、前回の有明ウォーターフロント大会・大会委員長の宮川健郎氏を選出した。

3 審議事項

(1) 2018年度事業報告 ※資料

(2) 2018年度会計報告・監査報告

甲斐雄一郎常任理事(総務担当)ご出張のため、山元隆春理事長から、資料に基づき、事業報告と会計報告を合わせて説明があった。事業委託費と重点委託費が予算を越えた実績となった事情説明と将来的に学会運営費に関して継続検討の必要性が示された。

その後、会計監査の小川雅子氏より、適正に処理されているとの監査報告があった。

→承認した。

(3) 2019年度事業計画・予算案

山元理事長より、資料に基づく説明がなされた。

→承認した。

(4) 今後の学会開催について

山元理事長から、今後の学会開催計画について説明があった。学会開催校の宮城教育大学・児玉忠氏(第137回大会)から、挨拶があった。

2019年 秋 第137回 宮城教育大学 10月26日(土)・27日(日) 青葉山キャンパス

2020年 春 第138回 島根大学 5月30日(土)・31日(日) 松江キャンパス

秋 第139回 山口大学 10月31日(土)・11月1日(日) 湯田キャンパス

2021年 春 第140回 北海道教育大学札幌校

秋 第141回 日本体育大学

→承認した。

(5) 国語科教育第87集編集

府川源一郎常任理事(紀要編集担当)より、審査結果について報告が行われた。

- ・投稿総数：32本(研究論文24本、実践論文7本、資料1本)のうち、審査対象外が4本あった。結果、審査対象は計28本(研究論文22本、実践論文6本)となった。

- ・審査の結果：採択0本、修正採択1本、修正再審査7本、不採択20本。なお、慎重な審議の結果、枠付けを資料に変更することを前提とした再審査が1本あった。

- ・書評対象図書：以下の2冊が選定された。

勝田光『学生の書く行為に着目した国語科における読者反応の支援』風間書房、2019年1月

ギュンター・R・クレス(松山雅子 監訳)『マルチモダリティ』溪水社、2018年12月

なお、次期第88集編集委員長は、第87集副委員長の細川太輔氏が務めることが合わせて報告された。

(6) 各部門報告

1) 研究部門

住田勝常任理事(研究部門担当)より資料に基づき説明が行われ、課題研究・公開講座の計画について了承された

2) 広報部門 ※資料

寺田守幹事から、HP移行について説明が行われた。7月1日に移行する。

(詳細は、後述の「お知らせ」をご覧ください。)

3) 出版部門

植山俊宏常任理事から、テキストの編集状況の報告が行われた。

以上

◆全国大学国語教育学会webサイトのリニューアルに伴うサイト URL 変更のお知らせ

この度、全国大学国語教育学会のサイトは、リニューアルし、2019 年 7 月 1 日（月）より web サイトアドレス（URL）を下記の通り変更させていただきます。

旧 Web サイト：<http://www.gakkai.ac/JTSJ>

新 Web サイト：<https://www.jtsj.org>

旧 Web サイトにつきましては、2019 年 7 月 1 日（月）からアクセスができなくなりますので、お手数ですが、お気に入りやブックマークに登録されている方は変更をお願いいたします。今後は、新 Web サイトより最新情報をご覧ください。

◆新入会員のお知らせ（受付順、敬称略）

田中 洋美、北島 咲江、藤田 伸一、渡邊 恭介、宮崎 潤一、國原 信太郎、三谷 玖未、北澤 紗奈、蘆 嘉依、松本 実樹、松本 真奈、井上 緒泉、向田 恵、早川 礎子、雷 民激、山田 直之、田丸 優太郎、辻 拓真、渡邊 瑠里、中島 愛梨、高橋 優華、武田 純弥、中山 卓、芳賀 冴子、濱野 天司郎、陸 冉、河野 遼、鈴木 真樹、新妻 千紘、村田 真樹、吉本 弥生、小路口 真理美、篠原 隆之介、泉村 靖治、中村 りか、犬飼 龍馬、一色 美緒、宮田 航平、皆尾 賛、藤 しおり、久米 宏樹、安部 真治、高橋 慶熙、荒木 智、市川 涼、小見 紗永子、金田 富起子、森 響平、野中 太一、永吉 寛行、小林 久美、山口 真充、小澤 まみ、川嶋 ひとみ、青木 大亮、佐藤 洋介、黒田 公平、岡本 岳之、吉沢 夏音、清徳 大輝、村上 永里菜、古川 元視、莊 嚴

全国大学国語教育学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

電話 **03-6824-9377****03-5389-3012**

jtsj-post@bunken.co.jp